

# 新しい理科

## 著作権関係者

### 代表

毛利 衛	宇宙飛行士・日本科学未来館館長	大島 まり	東京大学大学院教授	丹沢 哲郎	静岡大学理事・副学長	細萱 希彦	東京都小平市立小平第二小学校校長
雨宮 崇	科学コミュニケーター	加藤 尚裕	淑徳大学教授	土田 理	鹿児島大学教授	堀 哲夫	山梨大学理事・副学長
安道 隼人	岡山県岡山市立彦崎小学校教諭	加藤 直樹	岐阜大学教授	寺本 貴啓	國學院大学准教授	松本 一郎	鳥根大学教授
五百川 裕	上越教育大学教授	木月 里美	東京都武蔵野市立井之頭小学校主任教諭	東野 圭佑	岡山県赤穂市立山陽西小学校教諭	光眞 喬	東京都荒川区立汐入東小学校主任教諭
石川 雄大	岡山県笠岡市立笠岡小学校教諭	工藤 周一	東京都立区立伊興小学校指導教諭	東野 圭佑	岡山県赤穂市立山陽西小学校教諭	宮下 由美子	大阪府大阪市立古市小学校指導教諭
石田 好広	目白大学教授	小高 大輔	大阪府大阪市立新北島小学校主務教諭	榎川 正樹	福井大学教育学部附属義務教育学校教諭	向山 典宏	東京都瑞穂町立瑞穂第四小学校主幹教諭
磯野 伊知郎	香川県高松市立印座小学校教諭	清城 智哉	香川大学教育学部附属龍岡小学校教諭	富田 雄介	北海道札幌市立観北小学校教諭	山崎 光洋	岡山大学教授
岩本 哲也	大阪府大阪市立古市小学校教諭	佐伯 英人	山口大学教授	中道 優子	福井県鯖江市中河小学校教諭	山中 謙司	北海道教育大学旭川校教授
上木 朋子	福井県越前市吉野小学校教諭	坂野 真貴子	東京都多摩市立多摩第二小学校主幹教諭	成田 智哉	宮城県黒川郡大川小学校教諭	結城 千代子	上智大学非常勤講師
大井山 聖	石川県金沢市立明成小学校教諭	佐川 勝史	カリタス小学校教諭	西畑 千登世	福井県坂井市長畷小学校教諭	横山 正	元東京都杉並区立和田小学校校長
大木 努	慶應義塾大学准教授	澤本 一修	福井大学教育学部附属義務教育学校教諭	能條 歩	北海道教育大学岩見沢校教授	吉田 安規良	琉球大学大学院教授
岡田 賢	福島大学教授	新澤 尚志	北海道札幌市立西南南小学校主幹教諭	馬場 豊	元滋賀県草津市立志津南小学校校長	吉田 淳	名古屋学院大学教授
小倉 康	埼玉大学教授	武山 幸一郎	宮城県仙台市立相互台小学校教諭	久田 健一郎	筑波大学教授	渡辺 尚	宮城教育大学准教授
小野 直樹	福井県福井市明新小学校教諭	橋 慎二郎	香川大学教育学部附属高松小学校教諭	福井 広和	就実大学教授	波部 智喜	宮城教育大学附属小学校教諭
笠原 まり子	東京都北区立西ヶ原小学校主任教諭	田村 正弘	東京都足立区立千寿橋小学校校長	藤原 照浩	岡山県赤穂市立桜が丘中学校教諭		
片岡 祥二	共栄大学教授						

### 校閲

江里口 博	元群馬県立北町中学校主幹教諭	小池 啓一	群馬大学名誉教授	竹田 淳一郎	早稲田大学高等学院教諭	松村 譲児	吉林大学教授
大島 浩	佐野日本大学中等教育学校・高等学校非常勤講師	小林 秀明	文教大学准教授	手塚 千幹	浦和美業学園中学校・高等学校教諭	三浦 郁夫	気象庁
岡崎 彰	群馬大学名誉教授	古屋 康則	岐阜大学教授	林 壮一	福岡大学教授	邑田 仁	東京大学名誉教授
岡村 定矩	東京大学名誉教授	柴田 秀史	東京農工大学大学院教授	春永 順一	浦和明の星女子中学・高等学校講師	茂串 圭男	埼玉県立越谷北高等学校教諭
香末 卓郎	獨協埼玉中学高等学校教諭	鈴木 隆	東北文科大学教授	別宮 有紀子	都留文科大学教授	山野井 貴浩	白鷺大学准教授
金勝 一樹	東京農工大学教授	高橋 修	東京学芸大学准教授	松尾 基之	東京大学大学院教授	湯浅 智子	東京学芸大学特任准教授
						米澤 正弘	渋谷教育学園幕張中学校・高等学校講師

### 特別支援に関する編集協力

海津 亜希子 国立特別支援教育総合研究所

### バリアフリーに関する編集協力

徳田 克己 筑波大学教授      水野 智美 筑波大学准教授      西館 有沙 富山大学准教授

### 色覚デザインに関する編集協力

色覚問題研究グループばすてら      プログラミング教育に関する編集協力      特定非営利活動法人みんなのコード

## 教科書裏表紙での取り組み

裏表紙には、「新しい理科」全体での工夫や配慮について示しています。また、保護者の方へのメッセージを掲載しています。

- この教科書は、以下のような工夫や配慮を行っています。
- カラーバリアフリーを含むユニバーサルデザインに配慮しています。
  - 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
  - 再生紙・植物油インキを使用しています。



↑「新しい理科」全体での工夫や配慮

保護者のみなさまへ

## 豊かな学びが未来を拓く

理科では、子どもが身近な自然と触れ合い、さまざまな不思議や疑問を見つけ、それらを友達とともに解決していきます。その過程で、「あれ?」「なんで?」と疑問を見つける力、「きっと」「これとこれを比べれば」などと創意工夫して解決する力、「みんなの結果から」「予想と違って」などと事実を根拠に科学的に判断する力を身に付けていきます。私たちは、子どもが理科を楽しく学びながら、未来を拓く力を身に付ける一助となることを願って、本教科書を編集しました。

保護者のみなさまも、ぜひ子どもと一緒に教科書を開きながら、身近な自然に目を向け、疑問を見つけ、考え、理科を学ぶ楽しさや大切さを感じていただければ幸いです。

↑保護者の方へのメッセージ



東京書籍の特集ページでもご紹介しています。こちらからご覧ください。  
<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/rika/>

本社 〒114-8524 東京都北区堀船2-17-1 Tel:03-5390-7376 (理科編集部) Fa x:03-5390-6014  
 支社・出張所 札幌 011-562-5721 仙台 022-297-2666 東京 03-5390-7467 金沢 076-222-7 581 名古屋 052-939-2722  
 大阪 06-6397-1350 広島 082-568-2577 福岡 092-771-1536 鹿児島 099-213- 1770 那覇 098-834-8084  
 ホームページ <https://www.tokyo-shoseki.co.jp> 教育情報サイト 東書Eネット <https://ten.tokyo-shoseki.co.jp>



2年度  
小学校

### 内容解説資料

この資料は、2年度小学校教科書の内容解説資料として、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則っております。

### 東京書籍



見つけたい。



たしかめたい。



くわしく調べたい。



もっと深めたい。

### 教科書表紙の写真と言葉について

表紙の写真は、主体的に理科の学びに取り組む児童の様子です。また、写真に添えた文章は、新学習指導要領で育成が求められている思考力、判断力、表現力等が育成された姿を、児童の表現として示しました。

オナモミが  
服にくっつくのは、▶  
なんで？

# なんで？

なんで？と思ったら、すでに理科は始まっている。

当たり前だと思っていることに

「なんで？」と疑問を投げかける。

くらしを豊かにするのは、ありふれた毎日に  
新鮮な視点をもたらす「なんで？」の好奇心。

『新しい理科』は、子どもたちの

「なんで？」を育みます。

オナモミのとげ

新しい教科書を楽しくご紹介する  
ショートムービーを作成しました。

こちらから▶



# 未来を創る 資質・能力を育みます。

新しくなった『新しい理科』は、  
新学習指導要領の理念を授業で実現できる教科書、  
児童が確かな力を身に付けることができる教科書です。



**i** 新学習指導要領では、「理科の見方・考え方」を働かせながら問題解決の活動を行うことを通じて、資質・能力を育成することが求められています。また、そのための授業改善の視点として、「主体的・対話的で深い学び」が位置付けられています。

## 目次

4 全ての児童にとって「理科が分かる」、全ての先生にとって「授業が見える」教科書

### 特色1

「あれ?」「なんで?」が詰まった教科書

6 「主体的な学び」を実現します。—3ページ構成の単元導入—

### 特色2

もっと考えたくなる、  
もっと話し合いたくなる教科書

7 思考力, 判断力, 表現力等を高めます。—レベルアップ 理科の力—

8 対話の意義とねらいが分かります。—対話の具体例—

9 どのように考えればよいか分かります。—理科のミカタ—

### 特色3

児童も先生も  
理科が楽しくなる教科書

10 資質・能力を確実に育成できます。  
—学びのライン, 学びを生かして深めよう, たしかめよう, 学びをつなごう—

12 分かる喜びと自らの成長を実感できます。  
—ふり返ろう, 学ぶ前の私・学んだ後の私, 理科のひろば—

## 新学習指導要領への対応

- 14 ポイント① 問題解決の力の育成
- 16 ポイント② 知識及び技能の習得
- 17 ポイント③ 主体的に問題解決しようとする態度の育成

## 全国学力・学習状況調査への対応

- 18 「活用」の力の育成
- 19 調査結果から見られる課題への対応

## 編集上の留意点

- 22 大判化により更に使いやすい教科書に
- 24 デジタルコンテンツ
- 25 プログラミング教育
- 26 防災・減災教育／持続可能な社会 (ESD, SDGs)
- 27 インクルーシブ教育
- 28 安全への配慮／家庭学習
- 29 小中連携への配慮／他教科等との関連

このマークのある内容については、別冊の「観点別特色一覧表」に、より詳しい特色を記しています。合わせてご活用ください。